



第31号

NPO法人 「認証者数 3/21現在 291人」

茨城県防災士会 だより

(1)

発行日：2021年3月25日

発行元 特定非営利活動法人

茨城県防災士会

責任者 理事長

福島 末輝

令和3年度 第16期通常総会 開催に向けて

令和3年度通常総会の開催に向けての準備・担当が決まり、2年ぶりの集合総会開催に動き出した。新型コロナ禍開催会場の確保が懸念されたが、2月20日（土）及び3月21日（日）の両理事会にて「日時・議案」等の概要が次のとおり固り開催に向けて担当部署が動き出した。

○開催日時：令和3年5月15日（土）10:00

○開催場所：水戸市桜川市民センター 大会議室

水戸市河和田町2894番地4 電話：029-251-0359

○今後の進め方：4月10日（土）、監事による会計監査

監査終了後、議案書の取りまとめを行い、全会員に

「議案書」「返信はがき」「年会費振込票」を送付。

各エリア長から発信予定、返信は5月13日必着にて。

提出議案

第1号議案：令和2年度事業報告の承認

第2号議案：令和2年度活動計算書及び監査報告の承認

第3号議案：令和3年度事業計画（案）の決定

第4号議案：令和3年度活動予算書（案）の決定

第5号議案：役員選任（案）について

第6号議案：定款変更（案）について

●日本防災士会北関東連絡協議会総会は、コロナ禍により会場確保の観点踏まえ、代表者開催(注記：2P囲み)



ホームページ完成しました <https://i-bousaishi.jp>



今年度の法人事業であった「ホームページ」の作成は、年度「ホームページ立上げ委員会」を設け、3回の協議を踏まえ2月20日の理事会での承認を終え完成した。テスト版を1月下旬に配付して掲載内容を点検し、今後の書換の手続きを定めた。本ホームページ作成に際しては立上げ委員会のメンバーに厚くお礼申し上げたい。

今後は、運営委員会と改称して情報提供委員、編集専門委員を指名して運営にあたる。運営委員は次の各防災士が任に当たる。

- ・編集専門委員：「染谷吉明、渡辺直樹、人見克彦」（3名）
- ・広報提供委員：県北「渡辺直樹、人見克彦」、県央「染谷吉明、船橋淳宏」、県南央「吉田淳」、県南東「岡野博」、県南「川上政和、田中寿」、県西「吉川清信」（10名）

東日本大震災から10年過ぎました 地元新聞社取材対応

◎対外活動状況

2021年3月11日掲載記事より

茨城新聞が東日本大震災10年にあたり特集記事を掲載するに当たり、防災備蓄品等について特に女性目線から心がけるべき事項について懇談を行い情報提供をした。主たる内容は以下の通り。

- ①地区防災計画における生活必需物資備蓄の根拠
- ②家庭における備蓄品内容、③備蓄食料品と工夫していること
- ④発災時の家族との連絡手段、⑤諸外国の備蓄要領の紹介
- ⑥女性として必要な備蓄品、⑦避難所におけるペットの扱い

以上の記事内容が「茨城新聞」に掲載された（右：記事写真）。

防災士会対応：加瀬孝雄副理事長、山根実エリア長、寺門淳子防災士（2月27日、茨城新聞社にて対応）。



●同じく、3月2日（火）同新聞社からインタビュー取材を受けた。

土浦三中公民館にて、福島理事長、安東専務理事、横田理事が対応。対応内容は以下のとおり。

- 1 東日本大震災の前後で、地域の自主防災組織にどんな変化があったか。
 - (1) 自治区の自主防災組織の立上げ支援要請が来るようになり、支援した。
 - (2) 震災1ヵ月前に訓練実施、震災時に避難所開設活動につながった。
- 2 震災からの10年で、自主防災組織はどのような場で機能してきたか。
 - (1) 学 校：避難経路地図作成指導やマイタイムライン作成・避難ゲーム他
 - (2) 自治会：HUG訓練・DIG訓練・他、依頼で訓練・講演会を実施
- 3 自主防災組織について、現状での課題は。
 - (1) コロナ禍によりオンライン会議操作方法を覚え実施している自主防あり。
 - (2) 地区の少子・高齢化で会員が減少し、活動に支障もあり。

以上の取材対応を特集記事にて掲載、茨城県防災士会の存在を広報した。

会員への報告・お願い

北関東連絡協議会通常総会の件
コロナ禍につき、集合総会不可
につき、今年の総会は次の通り
開催の予定。

4月24日（土）宇都宮市で開催
役員会で代表者参加での審議へ
議案等は後日連絡につき、追認
（委任状にて）方お願いします
（当防災士会議案に添付予定）

オンライン会議開催に向けて 準備中

コロナ禍、セミナー・シンポジウム等の開催がオンラインにて実施される事例が多く見られる。当法人も将来を見据え、本手法の会議開催試行を済ませており、急ぎ本格化に向けた技術的課題を整理し、実施を目指している。

◎学校関係防災教室等

常陸太田市瑞竜中学校「防災・減災研修・訓練」

12月1日（火）13時30分～ 常陸太田市瑞竜町

- ・講演：消防職員、介護福祉士について
- ・防災クロスロードゲームをフループに分け実施。
- ・担当防災士：福地壽之、柴田美智子（2名防災士）



◎地域活動状況

土浦市まちづくり市民会議「防災セミナー」

3月18日（木）13時30分～ 土浦市新治地区公民館

- ・主催：土浦市市民生活部市民活動課市民協働室
- ・防災講演（地震発生時に取るべき行動）
- ・防災グッズ作成（新聞紙スリッパ、ゴミ袋カップの作成）
参加者全員にて作成着手。（土浦市初めての企画）
- ・担当防災士：福島末揮、松井秀夫、林昌子、野澤明弘



エリア会議開催報告

県南

- ①日時：3月6日（土）13時30分～16時
- ②会場：取手市福祉交流センター 12名出席
- ③議題： 1) 理事会報告
 - 2) 研修：災害時ペットの対応について
 - 3) 各防災士からの提案・意見
 - 4) 次年度エリア人事について：つくばブロック長選出。

今回、インターネット回線利用したビデオWEB会議を試行。長屋防災士の協力を得て、つくば市在住防災士がネット参加し、円滑に進じた。右写真の赤矢印が会場撮影カメラ及びパソコン使用状況です。

